

# 同窓会2017の一年のアラカルト

## 理事長挨拶



同窓会理事長  
高祖日出夫

## 近年の同窓会活動について

長い歴史を有する本校同窓会において10年前までは、毎年創立記念日

に総会懇親会を開催する以外は、周年記念事業として「大講堂」「同窓会館」「百周年記念館」「同窓資料館」等の建築が主な事業でありました。平成8年になり母校愛の強い会員の中からより本質的な同窓会活動があるのではないかと云う気運が高まり、皆様の同意のもとに常設の事務局を同窓会館に開設し、会費制による健全財政を確立し、常設の各種委員会に加え、マンネリズムにおちいらない為に毎年当番学年の方々の協力を得て着々と事業を推進してきております。

つまり年1回の総会懇親会、ゴルフ・ボウリング大会、会員全員に年1回配布の会報「朝日」の発行、ホームページによる折々の情報発信、同期会、部活動OB会、成人式前夜祭等のサポート、後輩達の部活動支援等の活動をしています。本年も昨年同様皆様方に母校校舎の改築並びに募金によって一新された「百周年記念館」をご覧頂きたく総会を母校大講堂で行います。過去10年間の活動の状況を振りかえり、同窓生各位のご協力に心から感謝する次第であります。

## 母校交流フェスティバル

平成17年11月19日  
例年11月第3土曜日にホテルで行われていた総会・懇親会を一新し、多くの会員が参加できる形を目指すと、1年かけて模索しました。

## 交流イベント

午後0時半～4時半  
部活OB会  
百周年記念館の2階と化学実験室・物理教室では各部活のOB会が開かれまして、会場では



現役生徒も交えての交流が行われ、先輩後輩たちの思いもかけぬ出会いもみられました。

### 特別授業「贈衛八処士」(杜甫)

教員から

一中の卒業生まで幅広い世代から90名が参加したこの授業では、友人との再会を喜ぶ杜甫の詩



にのせて、田口重俊先生(漢文昭和50年～62年在職)のあの名調子が蘇りました。詩の解説を聞き、返り点に注意しながら皆で音読すると、「まるで高校時代にタイムスリップ

したかのような楽しい時間」との教員達の感想でした。

### 座談会

「一中・二女精神の伝承者たち」と題して、



一中・二女で入学し、朝日高校で卒業した昭和26年卒・27年卒

と朝日高校一期生として入学した昭和28年卒の方々をパネリストに公開座談会とスライドショーがありました。昭和天皇奉迎時の緊張感、初めての男女共学の思い出などを語っていただきました。そして朝日高校には、一中の「自主自立」、二女の「明瞭にして良淑優雅」の精神が受け継がれて来ているように思えるとの感想が述べられました。

## 懇親会

11月19日(土)、母校近くの三光荘で開催された懇親会は、定員の関係で2階と3階に分かれて行うという前代未聞のスタイルでした。

昭和45年卒以上のご年配失礼!は3階でゆっくりと着席形式、それ以降の学年と当番学年は2階で立食形式、合わせて282人の同窓生が集まりました。

着席会場は従来通り昔話を肴に酒を酌み交わしながら各テーブルを廻り、終始なごやかな雰囲気にも包まれました。一方、立食会場では懐かしいBGMの流れる中、旧友との再会はもちろんのこと、立食ならではの世代間の交流も例年以上に見られました。壁には恩師からのメッセージが張られ、それに見入る人の姿もありました。締めは、当番学年と次年度当番学年により急遽結成された応援団の『あさひや』エール。



勇姿を披露した応援団OBの1人(昭和59年卒)は「先輩の呼びかけで急遽工



イルを掛けました。練習なし、打合せなしのぶっつけ本番でしたが、何とか皆さんに喜んでいただけました。残念ながら今の母校応援団には部員がいよいよですが、往時を偲んでまたやりたい。来年は僕達が当番学年なので「ご期待下さい」と話していました。

その後、恩師を囲んでの写真撮影などいつまでも歓談が続きまして。

初めての試みの懇親会スタイルでしたが、当日の各会場を見る限り、それなりに新機軸の意味はあったようです。



### ホームページ掲示板より

三光荘での懇親会では中学校の恩師の子息(朝日高卒業の社会人のかた)に出会えるという偶然、立食形式でなければこのような体験はできなかつたと思うと、一期一会の人生に感動。(昭和39年卒男性)